

相模原市都市計画公聴会

相模原都市計画、相模湖津久井都市計画
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更
相模原都市計画 都市再開発の方針の変更
相模原都市計画 住宅市街地の開発整備の方針の変更
相模原都市計画 区域区分の変更

公述内容の要旨と市の見解

令和7年6月

1 都市計画素案の種類及び名称

- (1) 相模原都市計画、相模湖津久井都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更
- (2) 相模原都市計画 都市再開発の方針の変更
- (3) 相模原都市計画 住宅市街地の開発整備の方針の変更
- (4) 相模原都市計画 区域区分の変更

2 公聴会の日時等

- (1) 日時 令和7年6月1日(日) 午前10時から
- (2) 場所 中央公民館 大会議室(中央区富士見2-13-1)

- | | | |
|------------------------|--------------------------|--------------|
| 3 公述内容の要旨と市の見解(都市計画素案) | 4 公述内容の要旨と市の見解(都市計画素案以外) | 5 公述の全文 |
| 公述人1 : P1 | 公述人1 : P2 | 公述人1 : P3～P6 |

3 公述内容の要旨と市の見解（都市計画素案）

整理 番号	公述内容の要旨	公述に対する市の見解
公 述 人 1	インフラ、みどり、コミュニティづくりは、最も基礎なことになると思いますが、そこに地域の歴史や教育・文化、そういうものをこう押さえたまちづくりってということもちょっとこの全体都市計画の中に抜けている。	都市計画区域の整備、開発及び保全の方針等に関する素案につきましては、「都市づくりの基本理念」として、「人口減少や超高齢社会への直面、A I、I o Tといった先端技術の急速な発展、リニア中央新幹線の整備に伴う経済・交流圏域の拡大等による暮らしや働き方の変化といった社会の変化に対応し、人、自然、産業、文化などの地域資源をいかし、市民生活を向上させ、住み続けたいと思える快適で活力のある持続可能なまちの形成を実現する。」を掲げており、ご意見のキーワードを踏まえた内容になっているものと考えております。
	広域避難所等ですね、わかりやすい避難場所ということを、都市計画の中にも入れていただきたい。	都市計画区域の整備、開発及び保全の方針は、都市計画区域を対象とした将来の都市づくりの方針や長期的視点に立った都市の将来像、都市計画の基本的な方針を定めるものです。 広域避難所に関する施策としましては、p 2 9に広域避難所等の機能の充実や避難場所の整備及び防災空間の確保など、都市防災に関する都市計画の方針を記載しております。 また、わかりやすい避難場所につきましては、自然災害の恐れのある地域と避難に関する情報を示した各種ハザードマップ等で周知しております。
	災害から守るっていう視点から、都市部のスポンジ化に対しても、対策を入れていかなければいけない。	都市計画区域の整備、開発及び保全の方針における、「都市づくりの基本方針」では、「ア 集約連携型まちづくりの実現に向けた都市づくり」、「イ 災害からいのちと暮らしを守る都市づくり」、「ウ 市全体で発展する持続可能な都市づくり」を掲げており、相互に連携した対応をしていくものです。 このため、都市のスポンジ化につきましては、災害対策という視点からも備える予防策や現に発生した場合の対応策の検討を推進してまいります。

4 公述内容の要旨と市の見解（都市計画素案以外）

整理 番号	公述内容の要旨	公述に対する市の見解
公 述 人 1	大きな主要路線を抱える都市、まちでは、帰宅困難者の保護計画を作るようにという、国交省からの求めがあると思いますが、まだ相模原はなされていない、橋本もなされていないので、そのへんのことも入れながら考えていただきたい。	ご意見については、都市計画の素案に直接関係するものではありませんが、東日本大震災が発生した際、本市でも多数の帰宅困難者が発生したことを踏まえ、九都県市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）で連携した取り組みを行っています。 一時滞在施設の確保、鉄道事業者との取り組みなどの具体的な取組につきましては、市ホームページ「帰宅困難者対策」（ページ番号 1008807）をご参照ください。 また、頂いたご意見については、関係部署と共有させていただきました。
	津久井方面等においていろんな施策の説明だとかご意見をいただくような場を、これからも都市計画課、あるいはまちづくり課含めてですね、そういう努力をいただきたいなというふうに私は思っております。	ご意見については、都市計画の素案に直接関係するものではありませんが、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

5 公述の全文

今日はありがとうございます。

私、東橋本2丁目におります●●でございます。

今日は都市計画の変更に関する公聴会ということなんですが、10年後を見据えてという都市計画ということですので、本当に一般市民としてはよく見えないところがたくさんあるので、適当な主旨の公述になるかはちょっと微妙ですのでその辺はお許してください。

私がお出しした主旨でございますが、ちょっとそれを冒頭申し上げてから個別にいきます。

1としまして、加速化する地球温暖化にあって、従来型の地域都市計画はスクラップアンドビルドの利便性・経済性優先の都市開発計画では、いわゆる持続可能なまちづくり、次世代につなぐ地球環境を守る計画ではなくなってしまうということですね。

2点目としまして、皆さんの行政は、やはり公共の福祉、この都市計画素案でもウェルビーイングという言葉が使われておりますが、公共の福祉に合致するインフラ整備、保全、或いは、たくさんの企業誘致にあって、今そういう開発が進行している場がたくさんありますが、地域貢献に値するものでなくてはならず、いわゆる市民参画のまちづくりと、そこは調整・融合できるものでなくてはならないというふうに考えます。

3点目、地球環境やハザードマップに基づいた、この中にもありますが安全安心のまちづくり、地域づくりが求められております。

4点目、ことに市内においてはですね、私の住んでる橋本等ですねリニア事業をめぐる開発、あるいは麻溝台、相模台の方ですねA&A事業をめぐる開発にあっては、市民参画の場で慎重丁寧に説明をしていただく、そういう市民参画の場を作っていただき、その責任を果たしていただくことが、行政

には求められているというふうに考えて提出しました。

個別に入りますが、10年後を見据えて、ということですが、皆様方が提案されている基本方針1、2、3とございますが、集約連携型まちづくりの実現に向けた都市づくりということで、人口減少、私みたいな、高齢者ですね、高齢社会の到来、脱炭素、グリーンライフ、保全創出、地域エネルギーシステムの導入等配慮した、都市型住宅、商業業務機能の連携した集約整備、公共施設の適正配置等の強化、そして住みたい、これは市民のキーワードですけど、住みたいと思えるまちづくり、その中で快適とか活力とか、そういう言葉がございますが、住みたいということはどういうことなのかなってということがやはり、都市計画のポイントになります。

その2番目として、やはり災害から命と暮らしを守る都市づくりでございます。

本当に今、この気候変動の中で、大雨とか、地震とか、土砂災害等が日常化していますが、防災機能を有する施設の適切な配置、耐震化不燃化、木造住宅の解消、あるいは道路や公園、地域の中に皆さんが避難できるオープンスペースを確保していく、総合的な防災まちづくりということは、どこでも必須なことだと思います。

3点目として、市全体で発展する持続可能な都市づくりでございますが、活力ある都市形成、求心力、首都圏南西部の広域交流拠点都市、市全体が発展する都市づくりとございますが、その中においても、住みたい・住みたいまちづくりということがキーワードになろうかと思います。

再開発の方針の中で、住宅市街地のあり方、質の高い住環境の形成、インフラ、みどり、コミュニティ等ございます。

私はそこに、やはり歴史や教育、文化、そういったものが、押さえられた

まちづくりっていうことが、市民の中には求められている。

このインフラ、みどり、コミュニティづくりは、最も基礎なことになるとと思いますが、そこに地域の歴史や教育・文化、そういうものをこう押さえたまちづくりっていうこともちょっとこの全体都市計画の中に抜けているかなっていうところを私は強調したいと思います。

それが安心して住み続ける、住宅環境も含めてコミュニティづくりになると思います。

ですので、その中の目標の中で、安心、安全で快適な住生活、住宅環境という中では、やはり自然災害から、また地震、土砂災害、台風、大雨、相模原でも、かつての台風15号や19号、津久井方面で、大変な被害が犠牲者4名出ました。

そうした串川等いろいろ氾濫して、大変な状況があります。そういったそういうハザードマップで、土砂災害警戒区域と言われている、津久井方面の開発にあたっては、とても慎重なことが求められると思います。

盛土なんかの対策も、盛土規制法もありますけれど、そうしたこともあります。

今リニア絡みで鳥屋の方に、広大な車両基地の計画もございますが、やはりその土砂災害警戒区域から住民を守るということが、都市計画の大きな中身になっていかないといけないかなと思います。

ですので、防災的な問題としまして、緑やオープンスペース、防災機能を備えた施設を備えるということは大事なことですし、広域避難所等ですね、わかりやすい避難場所ということを、都市計画の中にも入れていただきたい。

今帰宅困難者対策も、国交省の方で、例えば橋本なんかも、大変な帰宅困

難者が3.11の時も発生しましたが、そうした大きな主要路線を抱える都市、まちでは、帰宅困難者の保護計画を作るようにという、国交省からの求めがあると思いますが、まだ相模原はなされていない、橋本もなされていないので、そのへんのことも入れながら考えていただきたいということです。

目標3の中では、集約連携型まちづくりの中で、土地区画整理事業、そして適切な住宅規制、流動によるまちづくりとございますが、土地区画整理事業においては、橋本南口或いは相模原駅、麻溝台・新磯野地区とあると思いますが、やはりその土地区画整理事業においてもですね、やっぱり市民の声を聞くといいますか、市民参画ということはとても大事な視点になってくるかと思っています。

あとですね、住宅の問題としまして、この冊子にも書かれております、今都市のスポンジ化、空き家・空き地等の対策が求められると思います。

そうしたことも、災害から守るっていう視点から、都市部のスポンジ化に対しても、対策を入れていかなければいけないかなというふうに思います。

特にもう繰り返しになってしまいますが、その災害レッドゾーンといわれるところに対して、重点的な対策が求められるのではないかと、ハザードマップ含めて、災害から命を守る都市づくりっていうのは非常に大きなキーワードになると思います。

最後にですね、土地区画整理事業において、今私の住んでいる橋本南口もかなりリニア事業を背景として、本当に変貌、私もう、ここに引っ越して40年近くなりますが、あまりの変貌ぶりに都市計画ということが、市民の中にあんまり共有されていない、何かもう勝手に進んでいくんだみたいな、大型マンションが建ったりですね、いろんな商業施設が建って、大きな緑、相原高校が撤退して、緑環境も全く一変してしまいました。

私たちが住民として住んでいくこの都市計画まちづくりに求めるものはまた、大きな開発とまたちょっと整合性が取れないところもあるかと思います。

そうしたところを丁寧にやっぱり行政と市民、あるいはいろんな企業さんも含めて、何かこう接点を見出すような、そういうコミュニケーションをとりながらの開発計画っていうのが、大事になってくるのではないかなというふうに考えます。

繰り返しになりますけれど、インフラ整備というところで、今、全国各所です、下水道の老朽化においてですね、いろんなところで陥没事故、いろんな破裂だとか、そういうことも、相模原においても、他人事ではないというところがございます。

そうしたことと、しっかりした点検とか、保全、そういう対策とか、生活に関わる火葬場の問題、ごみ処理施設の問題、そういうことが喫緊の課題としてあります。

ごみの問題もですね、本当にごみの減量化で、私もたまたま審議会等に出ておりますが、今有料化、戸別回収というような方向も出ておりますが、本当に、いろんな、この都市計画にまつわるいろんな個別のそういった問題について、やっぱり市民が関心を持っていただくっていうことを、いかにこう作っていくかっていうことが、やはり行政に求められている大きな課題ではないかなと思います。

今日もちょっと傍聴者も来ていただけてないんですけど、もう74万市民でね、合併して、小川市長さんの時に合併されて、津久井方面のことも一緒になってきたわけですけど、やはり皆さんのこの都市計画、まちづくりへの関心をどう高めていくかってことがとても大きなことになるのではな

いかなというふうに思います。

一人一人がこの町に住み続けたいという、そういった思いが、どうやったら作っていけるのかっていうことが、とても大きなことになるのではないかなというふうに考えます。

この持続可能、防災、そして、やはり皆さんが公共の福祉、ウェルビーイングそうしたことで、この町を愛していけるような、そうしたことが、求められるのではないかな。

今日は私津久井方面のことはあまり語ることはできませんでしたが、ちょっとやはり距離が遠くて、目線がそちらまで行ってませんけれど、津久井のいろんな交通対策だとか、いろんな高齢化社会の問題、そして雪対策とかですねそういう防災、土砂災害等、そうしたことはとても大きな、津久井の皆様にとっての大きな課題だと思いますので、できたらそういう、津久井方面等においていろんな施策の説明だとかご意見をいただくような場を、これからも都市計画課、あるいはまちづくり課含めてですね、そういう努力をいただきたいなというふうに私は思っております。

今日は雑ばくな言い方で申し訳ございませんが、とにかく市民参画、そして防災、安心して暮らしていけるインフラ整備、そして歴史や、やっぱり誇りっていいですね地域の誇りを感じることができるような歴史や文化を、教育ですねそういったところも押さえた都市計画、ちょっと非常に広がってしまいますけど、そういうこともとても大事なことだと思います。

私もいろんなことを公民館で活動しておりますが、やはり緑を大事にして、ちょっと相原高校の創立記念樹の伐採されて、とても今悲しく思っておりますが、そうしたことも、市民が愛していけるまちづくりってことを、ぜひ都市計画の中で、映し出していただけるようなものでやって欲しいなというふ

5 公述の全文

うに思います。

ちょっと主旨が外れたこともあるかもしれませんが、以上で終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。